

ビジネスアナリシス・要求開発実践セミナー

『ビジネスルールと決定分析』

2日間コース

ビジネスルールと決定ロジック開発のための必修スキルとテクニック

このコースについて

目的にもっとも適合する、ディシジョンテーブル、明瞭な文章、あるいはその双方の組み合わせによって、ビジネス組織が必要とする、容易に理解できるビジネスルールを開発する準備を行うための、実践ワークショップを体験します。これによって、業務側とIT組織側の双方が、明快な分析およびコミュニケーションのスキル向上を即座に加速することができます。

これこそがビジネスアナリストの能力開発を、次の次元に至らしめる方法です。また、このセミナーの後半では、多様な環境において、ビジネスルールを引き出すために、準備する方法を説明します。業務にその多くが適応可能な、実務的な例やテンプレートを多数、学びます。また、ビジネスプロセスやその他の要求から、ビジネスルールを分離して引き出し、形式化する実務的な技法を習得します。提示されるものすべてを、実践ワークショップを通して、効果的に習得することができます。

このセミナーは意思決定分析の最新のトピックスを扱います。実証された技法は、日々の業務運用における意思決定を識別し分析します。そして、ディシジョンテーブルを使って最適化されたかたちで関連するビジネスルールを収集し体系化します。あなたのディシジョンテーブルについての直感的な理解は、的確に深められ、正確で効果的なアプリケーション開発の前準備とすることができます。このワークショップはまた同様に、システム要求の一部として、スマートなQ&Aの対話を開発する方法を提示します。ビジネスルールとディシジョンテーブルにもとづいて、これらの構造化された対話は、ユーザに直接的な方法で、意思決定を正確に行うために必要な、正確な状況を提供するように導きます。さらに、そのもとになる決定ロジックは、高度に体系化され、参照可能ですので、実際の業務運用を通して得られる新しい見識にしたがって迅速に洗練することができます。

このビジネス駆動型アプローチは、システム設計において、劇的な改善を生み出すだけでなく、高度にダイナミックで、またアジャイルな業務環境をもたらします。いまや業務は自分自身の経験から学ぶことができ、継続してそれ自身をよりスマートにしていくことができます。

コースの目標

- スマートで、もっと効果的なビジネスアナリシスを遂行する
- ビジネスプロセスにおける意思決定を識別し分析する
- ビジネスルールを収蔵するための効果的なプロジェクトを組織化する
- 明瞭で、業務と親和性が高いビジネスルール記述を書く
- 堅牢なディシジョンテーブルをつくりだす
- どの技法、いつ使うかを知る
- 業務担当者とディシジョンロジックを評価する
- ディシジョンロジックの変則点を識別し早期に修正する
- コンセプト分析を実施し、構造化業務語彙を開発する
- 適切な業務構造の見える化を行う。これにはファクトモデル、意思決定構造図および依存関係図を含む
- システムデザインの一部として、スマートなQ&A対話を開発する
- ビジネスルールの包括的なトレーサビリティを確立する
- 実務的なビジネスルールマネジメント・アプローチを開発する

コースのアウトライン (2日間)

標準コース(2日間)のアウトラインは下記の通りです

- ビジネスルールと意思決定分析とはなにか
- なぜビジネスルールか
- 意思決定分析をどのように的確に実行するか
- ビジネスルールを効果的に引き出すために必要とするスキル
- ビジネスルール vs ビジネスプロセス
- すべてのビジネスアナリストが知っておく必要があるビジネスルールの低減
- ビジネスルール分析のための基本原則
- ルールとファクト
- ポリシーをビジネスルールに展開する
- 単にITのためだけでなく業務のためのトレーサビリティを確立する
- あなたのビジネスルールを表現する
- なにを避けるべきか。それはなぜか
- ビジネスポリシー vs ビジネスルール vs 自動化ビジネスルール
- 曖昧性を排除する
- ガイドライン
- 例外を取り扱う
- コンセプト分析
- 用語はほんとうはなにを意味するか
- どのように調査するか
- なぜそれが本当に重要なのか
- 定義のためのガイドライン
- べし、べからず集
- すべてのビジネスアナリストが知っておくべきこと
- ワークショップ
- ファクトモデルを開発する
- 定義のためのガイドライン
- 見える化
- ファクトを開発する - ケーススタディ
- 業務プラクティスに対してルールを利用する
- なにを避けるべきか
- ルールからファクトをつくる
- あなたのルールに挑戦する
- 妥当性確認と検証
- 冗長な形式
- 例外
- ビジネスルールの品質
- 意思決定と意思決定ロジックとはなにか
- ビジネスプロセスルール vs ビジネスノウハウルール
- あなたの問題空間を理解する
- 意思決定分析について知っておく必要がある技法
- 意思決定分析とはなにか
- 意思決定の要素
- ケースと基準を識別する
- 成果を識別する
- 質問はなにか
- スコープを確立する方法
- スコープを洗練させる方法
- 例外を扱う方法
- 意思決定ロジックをシンプルにする
- スリムな意思決定ロジック
- 意思決定の構造
- 独立な部分決定
- 意思決定の構造を固める
- 意思決定の依存関係
- 質問を形成し洗練化させる
- どのようにビジネスの動機が質問と結果を形成するか
- メトリクス
- ディシジョンテーブル: その基礎
- ボックスと意思決定
- 表を設定する方法
- ビジネスプロセス再訪
- 意思決定ロジックはどのようにテスト可能か
- ファクトとファクトモデルはどのように適合するか
- デフォルト
- 基準と結果の制限
- 基準の欠落
- どのようにまとめるか
- ディシジョンテーブル: 上級分析スキル
- 代替フォーマット
- いつ伝統的なフォーマットを使うべきか
- 例外
- 伝統的なフォーマットの危険性
- 一般ルールと変更のシングルポイント
- 先取りと依存関係
- Q&Aベースの構造化対話をつくる
- 実装スキームを開発する
- ルールマネジメント